

支部活動交流 のひろば

支部総会方針に団結し、 2月に3名を拡大

行田・羽生支部

事務局長 大野辰男

行田・羽生支部は、支部結成から5年目になります。年始に開く支部総会で1年の活動を総括し、次年度の方針をみんなの力で目標達成の努力を続けています。

同盟の中心課題の一つである、署名は、この4年間掲げた署名目標を全会員の参加で、毎年達成してきたことは誇りです。今年も2月末現在で、個人署名目標300筆以上に対し、現在116筆、団体署名目標10筆以上に対し、10筆の到達です。2月末には、市内の各団体に県・支部両会長名の要請文書をお届け、懇談し、新たな団体が二つ協力してくれる変化も生まれました。

会員拡大は、結成当時は、点在3名の会員から準備会をスタートさせ、故須永甫さんの顕彰会を成功させる中で12名の会員に増

やし、県内5番目の支部として誕生しました。

その後、映画上映などの企画を成功させながら毎年会員拡大に努力し、今年1月の支部総会では、到達で30名目標を掲げ、支部幹部を先頭に、2月は、「山宣学習会」に参加した方や団体訪問の中で40代の事務局長を拡大するなど3名を拡大し、現在、26名に到達しました。



新加入同盟員紹介 6名

- 中村 賢一 (行田市)
- 田添 紀江 (行田市)
- 額瀬 美千世 (富士見市)
- 柴崎 康夫 (飯能市)
- 酒井 政治 (白岡市)
- 岩見 真理 (行田市)

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】 (451筆)

- 渡辺良雄 (所沢市) 5筆
- 山本幸彦 (狭山市) 17筆
- 林登美男 (狭山市) 60筆
- 小池莊市 (北区) 10筆
- 望月たけし (越谷市) 30筆
- 宮地さか枝 (川口市) 9筆
- 橋本静修 (緑区) 21筆
- 加藤武美 (狭山市) 10筆
- けやき総合法律事務所 5筆
- 税理士法人税理経理研究所 15筆
- 新日本婦人の会県本部 200筆
- 日本共産党西部地区委員会 28筆
- 同 狭山市委員会 9筆
- 国賠同盟 岩槻支部 18筆
- 同 春日部支部 11筆
- 同 行田・羽生支部 3筆

【団体署名】 (20団体)

けやき総合法律事務所、税理士法人税理経理研究所、新日本婦人の会吉川支部、同 深谷支部、同 上福岡支部、同 和光支部、同 大宮支部、越生支部、志木支部、原水爆禁止狭山市協議会

年末募金ありがとうございました

新祖章、額瀬美千世、浅子薫衣、(敬称略) 2月末日現在)

個人署名 2483筆
団体署名 41筆

お知らせ 編集の一部変更について

2月15日に開催した理事会で、不屈埼玉版の4面の紙面改善が提案され、次の通り、4月から変更します。



「不屈」No585付録 埼玉版 (No413)

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B
電話・Fax 048-824-0094
chian2022@gmail.com

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

再び戦争と暗黒政治許すな！ 「同盟」の真価 発揮し、飛躍的前進を・・・ 第一回理事会開催



2月15日(水)、黒澤ビル3階クラブに於いて、第一回県本部理事会が21名の参加で開催されました。最初に岩田治樹副会長が開会あいさつ、その中で昨秋亡くなられた本山豊常任理事(黙祷)を行い、議長に小池莊市副会長を選出し議事に入りました。

冒頭、加藤ユリ会長が挨拶、治安維持法犠牲者だった父親の体験にも触れ、再びあのような時代を繰り返してはならない、いまこそ「国賠同盟が真価を発揮する時、『戦争国家づくり』許さない運動の先頭に立つて闘い、強く大きな同盟をつくりましょう」と力強くよびかけました。

次いで、日本共産党埼玉県委員会を代表して小久保剛志県常任委員が、来賓挨拶を行い、今日の情勢の特徴と「同盟運動」の役割などを話されました。

県本部報告は、大野辰男事務局長が行い、第57回埼玉県本部総会以降の活動の到達と特徴では、昨年来重視してきた映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」での5千人目標の達成、会員拡大で毎月前進の記録は、17ヶ月連続更新して「理事会」を迎えたことを確信に、県総会で決めた諸課題の到達状況と当面の方針について、財政報告も含めて8項目にわたって詳しく報告。

特に、目前の統一地方選勝利の闘いと合わせ、3月15日からの「会員拡大特別期間」の成功、支部づくりの本格的促進、5月の国会請願行動に向けての「署名目標」の達成への取り組みなどが強調されました。また、映画「わが青春つきるとも」第三次上映運動、来迎する埼玉同盟「50周年記念誌」の作成状況の報告、埼玉県本部規約案についても提案され討論に入りました。

加藤ユリ会長の「まとめの発言」

発言は12名からあり、活発な討論が

行われました。発言の特徴は、いずれも岸田政権の「安保3法案」や「大軍拡」への怒りと、その中で、同盟運動の役割を自覚した発言でした。

署名を友人に依頼したら返信用封書で70筆返ってきた、その友人から治安維持法の学習会をしようと呼びかけられ、21日に開催するとの積極的な経験も報告されました。

一方「支部を作りたいが誰と相談をしたらいいのか」など悩みも出されました。全国の経験から「会員3名がまず集まり相談をしてみたら」、「楽しく開くことが次につながるのでは」の発言や、緑区の橋本さんは、相談する具体的な名前も上げて準備している様子も語られました。

私も一言



平和の想い、若者たちとともに

埼玉県平和委員会事務局次長 佐藤 泉

2月24日、ロシアがウクライナを侵略して1年が経ちました。やはり、強く感じることは、戦争は始まってしまったら、なかなか終わらせることは出来ないと言ったこと。だからこそ、絶対に戦争が始まらないように対話の外交を進めなければならないと言ったことだと思います。

昨年、ロシアの抗議行動をする中で、若者たちとの出会いがありました。昨年3月21日、高校生平和ゼミナールの高校生が、「プーチン大統領、直ぐに戦争をやめて下さい」と題する緊急署名を1週間で5212筆集めロシア大使館に届けました。この取り組みに協力し、私も95筆の署名を集めロシア大使館の抗議行動に参加しました。埼玉からも2人の高校生が参加しました。高校生たちは、抗議声明を読み上げ、現地に来られない広島や沖縄の高校生平和ゼミの抗議文も代読しました。「戦争反対!」「ロシアはウクライナからでいけ!」「NO WAR!」とシュプレヒコールを叫ぶ高校生を頼もしく思うと同時に涙が出てきました。大人の責任を強く痛感しました。その後、署名をロシア大使館のポストに投函し、横断幕を持ちピースウォークをしながらウクライナ大使館に行きました。ウクライナ大使館の職員、「次世代を担う世代として、歴史をよく学び、ロシアの若者達とたくさん交流し、今の想いを伝えて欲しい。」という言葉に大きな力をもらいました。

2月23日、ロシア大使館への抗議行動が行われ、私も参加してきました。今回は、高校生平和ゼミだけでなく、昨年3月に高校を卒業した大学生が、昨年5月、東京学生平和ゼミナールを立ち上げ、東京学生平和ゼミも一緒に行動に参加しました。

この高校生平和ゼミと東京学生平和ゼミは、ロシア大使館への抗議行動だけでなく、核兵器廃絶の問題にも取り組んでいます。8月15日、埼玉の高校生がひとりで大宮駅西口デッキに立ち、広島の世界大会の報告をし、署名活動に取り組みました。私も埼玉合唱団や埼玉県平和委員会とともに支援に駆けつけました。8月19日には、日本政府に核兵器禁止条約を署名・批准するよう求める署名1万3600筆を外務省提出し、約40人の高校生・大学生が要請行動に参加しました。埼玉の高校生も参加し発言しています。

また、この1年間の高校生平和ゼミの取り組みが、ドキュメンタリー映画「声をあげる高校生たち」日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を」となり、2月23日、完成試写会&トークイベントが開催されました。映画は40分ですので、高校生の頑張りを集会や学習会などで見ていただけたらと思います。今年3月27日、29日、沖縄では、高校生平和集会が開かれます。埼玉からは6人の高校生が参加します。みなさん、是非、高校生に「支援のカンパ」を埼玉県平和委員会へお寄せ下さい。

また、今後もこの頼もしい若者たちとともに、平和な日本、平和な世界をめざしていきたいと思っています。

ロシアは国連憲章守れ、ウクライナから撤退を! 大宣伝行動 戦争させない! 埼玉の会

ロシアのウクライナ侵略から1年、「戦争させない! 埼玉の会」は、2月24日正午から一時間、浦和駅東口で「大宣伝行動」を行いました。国賠同盟からも7人の県本部役員が参加して、「再び戦争と暗黒政治を許さない」「横断幕」とノボリを掲げ、マイクも握って頑張りました。

「ロシアは国連憲章守れ!」「ウクライナから撤退を!」と訴えると、立ち止まって、「戦争は早く終わってほしい」「なんでロシアはウクライナに攻め込んだんですか」「日本も軍事力を強めないでウクライナのように」は「話しあい」で解決するのですか「日本も軍事費を増やすと言っているけど、かえって危険では」「岸田さんは安倍さんより怖い」などなどの声が寄せられ、対話が広がりました。宣伝・対話をすすめます。



事件探訪 秩父秩父

第18回

石田造酒八の墓碑

篠田 健一

造酒八(みきはち)は寄居風布に居住し、安政四年三月生まれの事件当時二七歳。家族は妻と父母の四人暮らしだった。

明治一七年八月ごろ、大野福次郎に勧められ困民党に加入した。造酒八の公訴状によると、負債ある貧民が団結し、衆力を持って債主に借金の年譜返済を迫るため、各地で集会をするが、そのたびに警官により解散を命ぜられる。もはや尋常の手段では実現なら



ず、よく衆を擁して債主を脅かすしかないと決し蜂起したと。

蜂起に際しては風布村小隊長として、下吉田村椋神社から小鹿野町、大宮郷、皆野村へと進軍。一月四日、甲大隊長新井周三郎が重傷を負い、総理田代栄助は逃亡したことを知り、事ならざるを覚り逃走して一月九日、本野上村出張の警察官吏に自首。

明治一八年一月一三日、浦和重罪裁判所は造酒八に軽懲役六年を言い渡した。四年後の明治二二年二月、大日本帝国憲法の発布の大赦で出獄した。出獄後も、柔術の心得を生かして、村民の治療を無料にするなど終生村民のために過ごしたという。

【交通】秩父鉄道波久礼駅下車、徒歩約60分。

熱風

死してなお私たちの心に生き続ける多喜二。この二月、私ももう何年もの間、藤田廣登さんに導かれて麻布を歩く、多喜二が心のなかでいかに生きるべきかを教えてくれる▼更なる文学への熱望と日本が戦争へと突き進む只中、自由と民主主義のため上京。田口タキとの結婚を断念し、特高の見張りをくぐりながら小説を次々と発表。そして、地下活動に入り伊藤ふじ子と結婚。麻布十番の山中フルーツパーラーで母と妹弟で食事、「俺がいなくなっても探すな」と命の危険が迫っていることを告白し別れをつげる▼私は伊藤ふじ子のことが切ない。作家の澤地久枝さんが「昭和のおんな」のなかの小林多喜二への愛として二人のことを詳しく書いている。多喜二のなきがらを抱き拷問で腫れあがった身体をさすりながら嗚咽するふじ子。多喜二の妻ですと名乗るも非合法下の真実を知らぬセキや同志たち。この悲しさ辛さ▼二人が短い新婚生活を送った麻布の称名寺境内の小さな借家跡地に、多喜二の証を記念してプレートを設置する計画が進められている。

同盟文芸

短歌

訪問で 玄関口の 躊躇いを ぶつ切り強く チャイム推す 折入つてと「声」を聴いて「人」を知る 党を伝える 党が伝わる 春日部市 細谷 宣朗

俳句 春署名握った筆に力込め 行田市 大野 辰男 春闘に昇給期せしは昔かな さいたま市 小池 莊市

川柳

三月の燃えた東京夢にまた 談合の五輪選手を利用する 春日部市 福家 駿吉